

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学びつくり部会と生活つくり部会が中心となって、年間計画のもと、学校全体で学習規律の確立、家庭学習の習慣づけと家庭学習の内容の充実に取り組む体制が強い成果を上げることができた。 ・学力面では、全国・県の学習状況調査結果は、県平均をやや上回る大きく上回った。分析結果をもとに短期的・長期的課題を明確にして、指導方法の工夫・改善にさらに取り組む。 ・毎月のこごアンケート(いじめ・悩みアンケート)や日頃の観察、保護者からの連絡等について、管理職への報告が迅速になされている。そのことで、校務分掌担当及び関係機関と連携しながらチームとして生徒指導上の課題に対応することができている。 ・PTA及び地域安全ボランティアによる立ち見回り活動が活発に行われており、安全体制がほぼ確立している。PTAによる子供110番の家や地域ボランティアとの連携、「登下校の気づきマップ」と「地震発生時の気づきマップ」の作成、緊急時のPTAから区長、区長から地域ボランティアへの連絡網の確立等、安全体制が整ってきた。 ・不登校傾向・配慮を要する児童に対する支援については、管理職、担任、特別支援教育コーディネーター、教育相談担当等でケース会議を開催し、チームとしての対応に努めた。必要に応じて、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、巡回相談員、教育委員会等の関係機関と連携・協力しながら対応した。今後も、情報共有を基盤に、組織的に対応することで、早期解決を図ってきたい。
----------------------	---

2 学校教育目標	<p>心豊かで、たくましく、自ら学ぶ”と”つ子”の育成</p> <p>○やさしいつばい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちを考えて行動できる子 ・社会や地域に目を向け、多様性を認め、人や自然を大切にできる子 <p>○元気いっばい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康安全に気をつけ、体を鍛えることができる子 ・よいことを進んで行い、きまりやマナーを守ることができる子 <p>○やる気いっばい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで学ぶことができる子(学び合い、発表、学習規律、家庭学習、読書) ・予想を立て、筋道を通して考え、根気強く解決することができる子
-----------------	---

3 本年度の重点目標	<p>(1) 「鳥栖市教育プラン」の「鳥栖スタイル」の推進</p> <p>(2) 学力向上の推進</p> <p>(3) 開かれた学校づくりの推進</p> <p>(4) 特別支援教育の推進</p>
-------------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
----------------------	-------------	---------------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師70%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。	●	●	
	○基本的な学習習慣の定着と家庭学習の質・量の向上	○「話し合う活動」の楽しさ、よさを実感している児童の割合が70%以上。 ○授業に「話し合う活動」「ふり返り」の場面を設定し、習慣化することで、「主体的・対話的で深い学び」につながったと肯定的に捉える児童が70%以上。	・「話し合う活動」を取り入れ、授業を活性化させる。 ・授業の終末に「ふり返り」を書かせたり、話させたりする。	●	●	●	●	●	●	池田
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートを実施し、「授業を通して自己を振り返り、今後の言動について考えることができた」児童80%以上、「考えたことを実践することができた」児童70%以上を目指す。	・学年で1学級以上、授業参観時に「ふれあい道徳」を実施する。 ・学級の人間関係づくりにつながる取組を行う。	●	●	●	●	●	●	高尾・稲富・主幹
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等)のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員90%以上	・いじめの認知・覚知に対する対応マニュアルを作成・見直しを行う。 ・いじめの対応についての研修・会議を年間に3回以上行う。	●	●	●	●	●	●	高尾・稲富・主幹
	○教育相談の充実	○完全不登校を0にする。 ○教育的配慮を要する児童に対するチーム支援を行う。	・職員連絡会や子供支援会議で、配慮を要する児童の実態と支援の仕方について共通理解を図る。 ・校内体制の充実と、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーや関係機関と連携を図り、児童の実態に応じたチーム支援を行う。	●	●	●	●	●	●	高尾・稲富・主幹
●健康・体づくり	①「運動習慣の改善や定着化」 ②「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ③「安全に関する資質・能力の育成」	①授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間あたり420分以上の児童数を60%以上にする。 ②「健康に食事は大切である」と考える児童生徒80%以上 ③児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする	①「みんなで遊ぶ日」のように、週に1度は屋休みの時間に学級全体で外遊びを行うような取り組みを推奨する。 ②栄養教諭と学級担任とのTT授業を行い、食事の大切さを認識させる。給食日より、献立予定表を通して、児童・保護者への啓発を図る。 ③学校職員による登校時の立番指導(歩行指導、道路横断の仕方の指導を含む)や、一斉下校指導時の安全指導(危険箇所の確認や伝達を含む)を徹底する。 ④共有フォルダへデータの保存・整理。 ・提案資料の作成を効率的に行う。 ・業務改善案を募り、実行できる分については行う。	●	●	●	●	●	●	堤・川原・乗富・阿久根
	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外勤務時間の上限を遵守する。	・定期的な職員室等の整理整頓と環境美化の時間を設定する。 ・衛生委員会の中で、現在の目標達成について共通理解する。	●	●	●	●	●	校長・教頭
	○衛生管理の改善、充実	○職場の事故0を目指す。 ○時間外勤務時間の月の平均を45時間以下とする。		●	●	●	●	●	●	校長・教頭

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				★小中一貫教育の充実	★◎教科「日本語」の実践充実	★保護者・地域等に対する教科「日本語」の授業公開学級率100%以上 ★保護者等に対する教科「日本語」に係る情報を年間3回以上公開した学級率100%以上	・保護者・地域等に対する教科「日本語」の授業公開学級率を学年で1学級以上行う。 ・保護者等に対する教科「日本語」に係る情報(学年便り、学級通信など)を年間3回以上全学級が行う。	●	●	
○特別支援教育の充実	○研修会開催 ○個に応じた支援体制 ○関係機関との連携	○特別支援に関する研修会の実施による教員の意識の向上 ○前担任から引き継いだ個別の指導計画の作成	・特別支援に関する研修会の実施2回以上 ・ケース会議の開催、情報共有 ・一人一人のニーズに合った支援の実施の実行	●	●	●	●	●	●	古賀直・中島幹
○開かれた学校づくり	○学校運営協議会の立ち上げ	○目標設定と地域への啓発	・学校運営協議委員との連絡を密にし、連携しながら学校運営を行う。 ・学校だよりや学校HPの中で、学校運営協議会の取組を紹介する。	●	●	●	●	●	●	校長・教頭・主幹

●…県共通 ★…鳥栖市共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
-----------------------	---